

平成 30 年 6 月 2 日 (土) 解答人数 40 人

◇職種

1 社会福祉士会員 25 人

(職種:MSW 7 人、社会福祉協議会 1 人、相談支援専門員 2 人、児童発達支援管理責任者 1 人、社会福祉士 2 人、SW 1 人、児童 1 人、CSW・PSW 1 人、事務 1 人、生活相談員 1 人、相談包括化推進員 1 人、介護職 1 人、国家公務員審判官 1 人、無記入 2 人)

2 非会員 16 人

(職種:包括 1 人、社会福祉士 2 人、弁護士 1 人、ケースワーカー 1 人、ケアマネジャー 1 人、老健相談員 1 人、社協 2 人、相談員 1 人、ケアワーカー 1 人、学生 2 人、無記入 3 人)

3 無記入 1 人 (職種:無記入)

◇研修会に参加したきっかけ

1 ちらしをみて 10 人 2 社会福祉士会ホームページをみて 4 人 3 SNS をみて 0 人  
4 関係者等に誘われて 26 人 5 その他(郵便物) 1 人、学校からの案内 1 人

◇研修会について

<第 1 部>

◎内容はいかがでしたか?

1 とても良い 22 人 2 良い 18 人 3 あまり良くない 0 人 4 良くない 0 人

◎ご意見・ご感想

- ・社会資源が必要とされていることがわかった。
- ・社会調査をどのようにするか興味をもった。
- ・社会福祉士がこれから重要な役割を担うことを実感した。
- ・概略を理解することができた。
- ・長崎市における多機関型協同の取り組みについて知ることができ、自組織での取り組みの参考になった。
- ・国の動向と長崎市の現状を知ることができた。3 人
- ・事例が大変勉強になった。3 人
- ・事例を使って検討会があれば、それぞれの分野からいろいろな視点での意見が出てよかったのでは
- ・多機関型包括の重要性がわかった。2 人
- ・活動が詳しくわかった。3 人
- ・理念的なところが難しかった。端的に、多機関が必要な理由と、その効用をお知らせ頂く(具体例を

複数) というので良かったのではないかと思います。

- ・とても興味があり、また詳しく聞かせて頂ける機会があればと思っている。
- ・地域包括ケアシステムについて勉強できてよかった
- ・自身の業務にどのように組み込めるのか考える機会となった
- ・児童～高齢、その他幅広い話が聞けてよかった
- ・県央でもしてほしい

## <第2部>

◎内容はいかがでしたか？

1 とても良い 21人、2 良い 17人、3 あまり良くない 0人、4良くない 0人、5無記入 2人

◎ご意見・ご感想

- ・ざくばらんに話せる雰囲気が話しやすく良かった。2人
- ・夢が膨らんだ。
- ・グループワークで色々話せて良かった。
- ・いろいろな立場の方がいて良かった。2人
- ・とても話しやすく、ファシリテーターの方がきれいにまとめてくれた。これからも参加したいと思う雰囲気だった。
- ・30分程度時間があれば良かった。(時間が足りなかった)。7人
- ・新しい視点での意見が出て興味深かった。
- ・社会福祉士会で自己研鑽することの大切さを感じた。
- ・会の存続に関わる重要なことであることがわかった。発想の大事さが課題⇒企画性

◎その他ご意見・県南ブロックで実施してほしい活動のアイデア

- ・おまつり出店・・・学園祭
- ・BBQ・・・GWのダイナミックスも含めて
- ・資格取得者への WELCOME 窓口
- ・事例検討会
- ・横のつながりが強化できるようなシステムがあるといいなあ
- ・このような研修会を定例会として開催してほしい
- ・合宿
- ・もう少し県士会の活動を知ってから要望していきたいと思います
- ・認定社会福祉士の申請にむけた勉強会を是非6・7月あたりでしていただけたら。9月～が申請なのでその前に行ってもらいたいです
- ・チラン参加要件が参加しやすかったです
- ・県央もできるよう助けてください
- ・今日のように人数が多く、盛況なのはとてもよいのでは。スタッフの方々の努力の賜物だと思います。お疲れ様です。

## H30.6.2 県南ブロック研修会 グループワークまとめ

### 【県南ブロックで実施してほしい活動】

#### ◆研修会系（学びたいこと）

##### ○制度の学習

- ・制度・法改正について、制度利用の窓口（現場）の人から話を聞きたい
- ・いろいろな制度の説明の講義

##### ○分野ごとの相互理解

- ・障害者相談支援事業所の周知ができていないため、ケアマネや多職種が集まる研修会などの交流の機会を作りたい。
- ・多機関包括やこども障害女性センター等、各機関の実践報告が聞きたい
- ・高齢分野で仕事をしているので、子どもや障害など他分野の研修会に参加したい。
- ・制度についての勉強会
- ・高齢、医療といった分野ごとに現場の意見を聞きたい

さらに細かく、医療なら急性期、回復期、療養のように分け、現場の意見、どういう連携をしているのかを知りたい

- ・分野ごと（高齢者・児童・障害等）に分かれての、グループワーク
- ・それぞれの分野の方が講演する研修会（社会福祉士の目線での）

##### ○事業所の活動理解

- ・それぞれの社会福祉士が、それぞれの事業所でどのように活躍しているのか知りたい。（社会福祉士の活躍の場を知らない人もいるのでは）
- ・職場紹介。自分の職場しか知らないなので、他の社会福祉士がどんなことをしているのか知りたい。
- ・同じ社会福祉士でも分野や職種によって仕事内容が異なるため、活動紹介をしてほしい。

##### ○事例

- ・支援の過程についての研修

事例研究会に近い感じで、実際の事例を使って支援のプロセスを考える

- ・事例検討会（発表会）
- ・事例検討会。社会福祉士として職務にあたることができているか自分の支援を振り返ることができる。
- ・県南の研修会があまり開催されていないので、もっと事例検討会等を行ってみてはどうか

##### ○その他

- ・スーパービジョンの研修会
- ・研修合宿 温泉（グループワークを何回かやる、その都度グループを変える）
- ・生活保護のケースワーカーとの連携、事例紹介、報告会
- ・銀行、PT・OT、アロマセラピー、デパートのバイヤー、神父、住職等それぞれの機関が持っている福祉のニーズやそれぞれの仕事についての話（お金の話や顧客ニーズ、説法）

#### ◆施設訪問、見学系

- ・施設見学 個人では行けないところ 例：児童養護施設

- ・施設や病院見学（社会資源を知らないから）
- ・島に行きたい、社会資源が乏しい島の福祉や地域のささえ会いを知りたい。
- ・施設見学を県土会で行ってその後交流
- ・見たい施設の会議室等で見学兼研修、その後交流会

◆親睦を深める

○飲み会

- ・飲み会、交流会、カラオケ大会…他分野の専門職との連携
- ・BBQ大会、ボウリング大会
- ・バスツアー（苺狩りなど）
- ・懇親会（飲み会）、昼からランチ会

○スポーツによる交流

- ・ドッチビー
- ・ソフトボール大会。
- ・ソフトバレー
- ・ドッジボール大会（ストレス解消。日頃のストレスをぶつきたい！）
- ・県外に行く、福岡で野球を見る。
- ・サッカー観戦
- ・体を動かす（県南体育祭開催）・運動会
- ・ハイキング
- ・新春駅伝大会に参加（仲間の輪が広がる。事前に練習も行いたい）
- ・山登り
- ・社会福祉士会Tシャツを作って、リレーマラソンに出場する  
（その他、スポーツ等の大会に出場する際には、社会福祉士会Tシャツを着用してもらい社会福祉士の知名度アップを図る）

◆開催にあたっての要望】

- ・子育て中の場合平日夜は参加が難しい。土日であれば比較的参加しやすい。
- ・子どもも連れて来られる企画があれば参加しやすい。
- ・会員数が少ないので、県央ブロックも参加させて欲しい
- ・各会員がどこに所属しているのか知りたい（今後相談しやすくなるため）
- ・社会福祉士マップ（会員がどこにいるのかをまとめているもの）があれば面白い
- ・子供連れで参加できる研修
- ・有名人を呼ぶ。少し会費を出し合って。
- ・バーベキューだけなら初見の方は来にくだろうから、まずはいろんな研修を。

◆会員を増やすために

- ・国試対策講座（できれば小グループで実施して欲しい）
- ・純心大で宣伝

- ・ オープンスクール（キャンパス）に参加
- ・ 保護者をターゲットに宣伝する
- ・ 卒業生が大学、養成施設で説明する
- ・ 学祭の出店にてフリマとかどうか
- ・ 学生や非会員に案内をだしていくことも必要であるが、社会福祉士がどんな仕事をしているのか一般市民に知っていただけるような働きかけが必要ではないか
- ・ 社会福祉士会会員でリレートークをしてみてもどうか
- ・ 何かあった時に相談できる相談窓口を社会福祉士会のホームページ等でできるようになったらよい

#### ◆その他

弁護士からみた社会福祉士会、社会福祉士

- ・ 社会福祉士は分野等の垣根を越えて、もっと飛び出せばいいのに、と思う
- ・ 同じ社会福祉士でも、どこの職場に所属しているかによって、他機関へのつなぎ方が異なる
- ・ 多機関のスタンスこそが社会福祉士の本質だと思う